

中学生の農業体験

— 子どもたちに「農業」という選択肢を —

茨城町では、次代を担う子どもたちを対象に、町の基幹産業である農業を体験してもらい、農業の重要性や勤労の尊さを学ぶ農業体験事業を行っています。

今年度は、明光中・青葉中ともサツマイモづくりを苗植えから収穫まで体験。生徒たちは、農業の大変さと面白さ、そして食べ物の大切さとそれを育てる農家の方々への感謝の気持ちを感じていたようでした。



農業体験を通して

明光中学校 一年 江橋 理奈

野菜を育て収穫する活動をして感じたことは、農作物を育てることは、思っていた以上に大変なということでした。収穫するまでに行った草抜きは、特に大変な作業でした。けれど、私たちが行ったのは授業の時間だけで、夏休みなどに、先生方や農家の小沼さんが手入れをしてくださったおかげで、野菜は大きく元気に育ったのだと思います。私たちが育てていたら、農作物が成長せず、全て枯れてしまったかもしれません。また、収穫の時は、収穫の仕方を丁寧に教えていただきました。収穫できたときはとても嬉しかったです。野菜作りが楽しいと感じました。

今回農業体験をして、私は野菜作りの大変さがよく分かりました。そして、収穫した時の嬉しさも感じられました。これからは、野菜を残さず、感謝して食べていこうと思います。そして、また野菜作りに挑戦したいです。



農業体験学習を終えて

青葉中学校 一年 深田 和暉

僕は、農業体験学習を通して学んだことが二つあります。一つ目は、農業の大変さです。僕たちは、さつまいもを栽培しましたが、すごく大変でした。草取りは、暑い中での作業でした。爪に土が入ったり、途中で腰が痛くなったりしました。それを考えると、農業を行っている人たちはすごいなと思いました。こうした苦労が収穫したときの喜びにつながっているのだと思いました。自分たちが育てたさつまいもは、格別に美味しかったです。

二つ目は、感謝の心です。僕は、今まであまり食材に関心がなく、食べ物をただ食べているだけでした。しかし、この農業体験を通して、食材は、誰かが苦労をして育てていることに気づきました。これからは、そうした苦労に感謝し、食材を大切に食べていこうと思います。

この体験は、僕の財産になったと思います。

祝 成人

355人が大人の仲間入り



1月11日、平成27年茨城町成人式が中央公民館大ホールで挙行政されました。今年度は、町内で男性204人、女性151人の新成人が誕生。会場では色鮮やかな振袖や、真新しいスーツに身を包んだ新成人が、久しぶりに会う友人や恩師との再会に笑顔を見せていました。新たな門出を祝う言葉を受け、新成人を代表して謝辞にたった中村祐太さん（明光中出身）は、「この茨城町で育ち、成長させていただいたことに感謝しています。これから出会う人々との関わりを大切に、今後とも日々精進してまいります」と成人としての決意を新たにしました。



笑顔で記念撮影をする姿があちこちで見られました



新成人で組織される成人式実行委員の皆さん



お祝いに駆け付けたひめ丸くんと一緒に



謝辞を述べる中村さん

笑顔ですごく（^^）
就職で自分のやりたいもの、
したいことをする
高野 りか（長岡）

夢は消防士です。20歳
になり、大人の仲間入りを
してこれから社会に貢献
できる人間になりたいです。
鈴木 太悟（奥谷）

大学で社会に出るため
の勉強中なのでこれから
も変わらず頑張りたいです！
坂場 安由未（若宮）

私事ですが本日ちょうど20歳を迎えることが
できました。周りの環境に恵まれ成長できたことをと
てもうれしく思います。
今後は自分のやりたい職業である公務員への勉強
にはげみ無事採用されるよう努力していきたいと思
います。

石井 靖教（五里峰）

人生の大きな区切りを無
事迎えられたことを感謝し、
育ててくれた親、先生方に
また笑顔でいい報告ができ
るようにしっかりと自覚を
もって生きていきたいと思
います。

山口 大一郎（木部）

二十歳の声

成人式を迎えた心境や今後の抱負を聞かせていただきました。